Creative Enzymes®

サーモビフィダ・フスカ由来のリティックセルロースモノオキシゲナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1568

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	リティックキチンモノオキシゲナーゼは、銅依存性のリティック多糖モノオキシゲナーゼ（LPMO）です。銅依存性のリティック多糖モノオキシゲナーゼ（LPMO）は、バイオマスの酵素的変換において重要な役割を果たします。LPMOは、セルロビオース脱水素酵素（CDH）などの電子供与体と分子酸素を含むプロセスで、グリコシド結合の酸化的切断を触媒します。
別名	銅依存性溶解多糖モノオキシゲナーゼ; LPMO; 溶解多糖モノオキシゲナーゼ

製品情報

種	サーモビフィダ・フスカ
由来	大腸菌
形態	35 mM NaHepes バッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および 25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 1.-.-.-
分子量	23.4 kDa
純度	>SDS-PAGEによって判断された90%
濃度	1 mg/mL
最適pH	8
最適温度	50 °C
特異性	セルロース基板

保管・発送情報

保存方法	この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。